



平成 29 年 6 月 16 日

各 位

東京都品川区西五反田 1 丁目 1 番 8 号  
N M F 五 反 田 駅 前 ビ ル 7 階  
サクセスホールディングス株式会社  
代表取締役社長 佐々木 雄一  
(コード番号：6065 東証第一部)  
問合わせ先 管 理 部 長 石 井 大 介  
T E L 03-6431-9899

**(訂正)「平成 25 年 12 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について**

当社は、平成 25 年 8 月 9 日に開示いたしました「平成 25 年 12 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

**1. 訂正の理由及び経緯**

訂正の理由及び経緯につきましては、平成 29 年 6 月 14 日付「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明及び有価証券報告書等の訂正報告書の提出並びに過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

**2. 訂正箇所**

訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_\_\_を付して表示しております。また、表示単位未満の数値を訂正している場合においても、\_\_\_\_を付して表示しております。

以 上

【訂正後】



## 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月9日

上場会社名 サクセスホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6065 URL <http://www.success-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴野 豪男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 野口 洋 TEL 0466 (55) 5110  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 平成25年9月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	4,113	20.6	218	△4.4	340	△32.5	192	△27.5
24年12月期第2四半期	3,409	—	228	—	504	—	265	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 192百万円 (△27.5%) 24年12月期第2四半期 265百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	36.75	—
24年12月期第2四半期	57.18	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 当社は、平成25年1月1日付で1株につき3株の株式分割を行っております。なお、平成24年12月期の1株当たり四半期純利益は当該株式分割が平成24年12月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	4,877	1,555	31.9	296.82
24年12月期	4,918	1,362	27.7	279.15

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 1,555百万円 24年12月期 1,362百万円

(注) 当社は、平成25年1月1日付で1株につき3株の株式分割を行っております。なお、平成24年12月期の1株当たり純資産は当該株式分割が平成24年12月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	15.00	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	10.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,397	15.9	532	49.5	700	16.1	370	15.4	70.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

【訂正後】

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記情報）」に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記情報）」に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年12月期2Q	5,241,000株	24年12月期	5,241,000株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

25年12月期2Q	－株	24年12月期	－株
-----------	----	---------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年12月期2Q	5,241,000株	24年12月期2Q	4,650,000株
-----------	------------	-----------	------------

(注)当社は、平成24年3月30日付で株式1株につき500株、平成25年1月1日付で1株につき3株の株式分割を行っております。平成24年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数（自己株式を含む）及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【訂正後】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 【訂正後】

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による積極的な経済・金融政策に対する期待感から、円安・株価上昇が進むなど、次第に景気回復の兆しを感じられつつあります。

保育業界におきましては、都市部を中心に未だ多くの待機児童が生じており、保育の需要は依然として高い状況が続いております。このため、政府は「待機児童解消加速化プラン」を発表するなど、待機児童解消に向けた取り組みを進めております。

このような環境の中、当社グループでは一人でも多くの方に保育サービスを提供すべく、新規施設の開設を進めてまいりました。当第2四半期連結累計期間における事業の状況は次のとおりです。

当第2四半期連結累計期間において、以下の保育施設を新たに開設いたしました。

(受託保育事業) 合計14件

- ・病院内保育施設 合計8件
  - 東京都 2件
  - 神奈川県 3件
  - 千葉県 1件
  - 兵庫県 1件
  - 福井県 1件
- ・大学内の保育施設 合計5件
  - 東京都 3件
  - 愛知県 1件
  - 千葉県 1件
- ・グループ実施型家庭保育室 合計1件
  - 愛知県 1件

(公的保育事業) 合計8件

- ・認可保育園 合計5件
  - にじいろ保育園自由が丘
  - にじいろ保育園新桜台
  - にじいろ保育園洋光台
  - にじいろ保育園新杉田
  - にじいろ保育園上星川
- ・学童クラブ等 合計3件
  - 東京都中野区立新井学童クラブ
  - 東京都板橋区立桜川小学校あいキッズ
  - 東京都板橋区立桜川小学校あいキッズ学童クラブ

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,113,705千円（前年同四半期比20.6%増）、営業利益は218,875千円（同4.4%減）となりました。一方で、営業外収益における設備補助金収入が前年同四半期比で減少したことから、経常利益は340,688千円（同32.5%減）、四半期純利益は192,619千円（同27.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(受託保育事業)

売上高は1,715,789千円（前年同四半期比7.8%増）となりました。セグメント利益は184,151千円（同13.2%減）となりました。

(公的保育事業)

売上高は2,397,916千円（同31.9%増）となりました。セグメント利益は246,212千円（同30.8%増）となりました。

## 【訂正後】

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,877,592千円（前連結会計年度末比40,653千円増）となりました。

## (流動資産)

流動資産は2,541,603千円（同313,095千円増）となりました。これは、主に公的保育事業における新規施設の設備投資が生じたことにより、現金及び預金が前連結会計年度末比で352,579千円減少したためです。

## (固定資産)

固定資産は2,332,762千円（同273,215千円増）となりました。これは、主に公的保育事業における新規施設の建設により建物及び構築物が354,023千円増加したためです。

## ②負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は3,321,911千円（同233,493千円増）となりました。

## (流動負債)

流動負債は1,859,564千円（同107,716千円減）となりました。これは、主に未払金が206,715千円減少し、前受金が51,197千円増加したためです。

## (固定負債)

固定負債は1,462,346千円（同125,777千円減）となりました。これは、主に長期借入金が130,587千円減少したことによるものです。

## ③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,555,436千円（同160,072千円増）となりました。これは、四半期純利益192,619千円を計上したことにより、利益剰余金が増加したためです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年2月8日の「平成25年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (減価償却方法の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産（建物を除く）について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、変更に伴う影響は軽微であります。

## 【訂正後】

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,227,667	1,875,087
受取手形及び売掛金	454,432	475,654
原材料及び貯蔵品	3,199	4,769
その他	<u>169,475</u>	<u>186,172</u>
貸倒引当金	△77	△80
流動資産合計	<u>2,854,698</u>	<u>2,541,603</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,801,374	2,227,994
減価償却累計額	△457,341	△529,937
建物及び構築物(純額)	<u>1,344,033</u>	<u>1,698,056</u>
その他	309,429	183,289
減価償却累計額	△92,467	△108,320
その他(純額)	<u>216,961</u>	<u>74,968</u>
有形固定資産合計	<u>1,560,995</u>	<u>1,773,025</u>
無形固定資産	46,813	49,323
投資その他の資産	<u>451,739</u>	<u>510,413</u>
固定資産合計	<u>2,059,547</u>	<u>2,332,762</u>
繰延資産	3,999	3,225
資産合計	<u>4,918,245</u>	<u>4,877,592</u>
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	473,913	498,053
未払金	492,936	286,221
未払法人税等	223,387	173,790
前受金	452,585	503,783
賞与引当金	33,035	32,303
その他	<u>271,421</u>	<u>345,412</u>
流動負債合計	<u>1,967,280</u>	<u>1,859,564</u>
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	1,410,851	1,280,264
資産除去債務	81,607	103,017
その他	55,664	49,064
固定負債合計	<u>1,588,123</u>	<u>1,462,346</u>
負債合計	<u>3,555,404</u>	<u>3,321,911</u>

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	285,771	285,771
資本剰余金	510,439	510,439
利益剰余金	<u>566,605</u>	<u>759,225</u>
株主資本合計	<u>1,362,816</u>	<u>1,555,436</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	244
その他の包括利益累計額合計	<u>25</u>	<u>244</u>
純資産合計	<u>1,362,841</u>	<u>1,555,680</u>
負債純資産合計	<u>4,918,245</u>	<u>4,877,592</u>



## 【訂正後】

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	3,409,794	4,113,705
売上原価	2,746,813	3,362,771
売上総利益	662,981	750,934
販売費及び一般管理費	434,022	532,058
営業利益	228,958	218,875
営業外収益		
受取利息	269	705
受取配当金	3	3
設備補助金収入	285,984	145,277
その他	8,090	7,864
営業外収益合計	294,347	153,850
営業外費用		
支払利息	14,918	12,901
株式公開費用	2,000	16,000
その他	1,525	3,135
営業外費用合計	18,444	32,037
経常利益	504,861	340,688
特別損失		
固定資産売却損	16	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純利益	504,845	340,688
法人税等	238,967	148,068
少数株主損益調整前四半期純利益	265,878	192,619
四半期純利益	265,878	192,619

## 【訂正後】

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	265,878	<u>192,619</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	219
その他の包括利益合計	<u>3</u>	<u>219</u>
四半期包括利益	<u>265,881</u>	<u>192,839</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	265,881	<u>192,839</u>

【訂正後】

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	504,845	340,688
減価償却費	80,895	97,422
設備補助金収入	△285,984	△145,277
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,535	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,112	△732
受取利息及び受取配当金	△272	△708
支払利息	14,918	12,901
支払手数料	1,308	1,227
固定資産除却損	16	—
売上債権の増減額(△は増加)	5,040	△21,221
たな卸資産の増減額(△は増加)	86	△1,570
未払金の増減額(△は減少)	△14,301	△79,533
前受金の増減額(△は減少)	15,601	51,197
その他	45,405	67,346
小計	377,135	321,744
利息及び配当金の受取額	272	708
利息の支払額	△14,058	△13,430
法人税等の支払額	△182,449	△212,366
補助金の受取額	285,984	145,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	466,883	241,932
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△356,315	△406,554
無形固定資産の取得による支出	△2,746	△6,449
敷金及び保証金の差入による支出	△1,082	△33,360
敷金及び保証金の回収による収入	1,133	600
その他	△19,079	△24,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378,090	△470,646
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	548,691	138,772
長期借入金の返済による支出	△174,019	△246,447
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	△6,103	△6,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	358,569	△123,866
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	447,362	△352,579
現金及び現金同等物の期首残高	1,283,570	2,207,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,730,932	1,855,087

【訂正後】

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,592,258	1,817,535	3,409,794	—	3,409,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,592,258	1,817,535	3,409,794	—	3,409,794
セグメント利益	212,127	188,219	400,346	△171,388	228,958

(注) 1. セグメント利益の調整額△171,388千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,715,789	2,397,916	4,113,705	—	4,113,705
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,715,789	2,397,916	4,113,705	—	4,113,705
セグメント利益	<u>184,151</u>	<u>246,212</u>	<u>430,364</u>	△211,488	<u>218,875</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△211,488千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

【訂正前】



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月9日

上場会社名 サクセスホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6065 URL http://www.success-holdings.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴野 豪男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 野口 洋 TEL 0466 (55) 5110  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 平成25年9月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績 (平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	4,113	20.6	258	12.8	380	△24.7	217	△18.2
24年12月期第2四半期	3,409	—	228	—	504	—	265	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 217百万円 (△18.1%) 24年12月期第2四半期 265百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	41.52	—
24年12月期第2四半期	57.18	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 当社は、平成25年1月1日付で1株につき3株の株式分割を行っております。なお、平成24年12月期の1株当たり四半期純利益は当該株式分割が平成24年12月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	4,842	1,613	33.3	307.81
24年12月期	4,894	1,395	28.5	266.24

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 1,613百万円 24年12月期 1,395百万円

(注) 当社は、平成25年1月1日付で1株につき3株の株式分割を行っております。なお、平成24年12月期の1株当たり純資産は当該株式分割が平成24年12月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	15.00	—	—	—
25年12月期 (予想)	—	—	—	10.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,397	15.9	532	28.9	700	6.1	370	5.0	70.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

【訂正前】

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記情報）」に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記情報）」に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年12月期2Q	5,241,000株	24年12月期	5,241,000株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

25年12月期2Q	－株	24年12月期	－株
-----------	----	---------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年12月期2Q	5,241,000株	24年12月期2Q	4,650,000株
-----------	------------	-----------	------------

(注)当社は、平成24年3月30日付で株式1株につき500株、平成25年1月1日付で1株につき3株の株式分割を行っております。平成24年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数（自己株式を含む）及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【訂正前】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 【訂正前】

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による積極的な経済・金融政策に対する期待感から、円安・株価上昇が進むなど、次第に景気回復の兆しを感じられつつあります。

保育業界におきましては、都市部を中心に未だ多くの待機児童が生じており、保育の需要は依然として高い状況が続いております。このため、政府は「待機児童解消加速化プラン」を発表するなど、待機児童解消に向けた取り組みを進めております。

このような環境の中、当社グループでは一人でも多くの方に保育サービスを提供すべく、新規施設の開設を進めてまいりました。当第2四半期連結累計期間における事業の状況は次のとおりです。

当第2四半期連結累計期間において、以下の保育施設を新たに開設いたしました。

(受託保育事業) 合計14件

- ・病院内保育施設 合計8件
  - 東京都 2件
  - 神奈川県 3件
  - 千葉県 1件
  - 兵庫県 1件
  - 福井県 1件
- ・大学内の保育施設 合計5件
  - 東京都 3件
  - 愛知県 1件
  - 千葉県 1件
- ・グループ実施型家庭保育室 合計1件
  - 愛知県 1件

(公的保育事業) 合計8件

- ・認可保育園 合計5件
  - にじいろ保育園自由が丘
  - にじいろ保育園新桜台
  - にじいろ保育園洋光台
  - にじいろ保育園新杉田
  - にじいろ保育園上星川
- ・学童クラブ等 合計3件
  - 東京都中野区立新井学童クラブ
  - 東京都板橋区立桜川小学校あいキッズ
  - 東京都板橋区立桜川小学校あいキッズ学童クラブ

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,113,705千円（前年同四半期比20.6%増）、営業利益は258,227千円（同12.8%増）となりました。一方で、営業外収益における設備補助金収入が前年同四半期比で減少したことから、経常利益は380,040千円（同24.7%減）、四半期純利益は217,608千円（同18.2%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(受託保育事業)

売上高は1,715,789千円（前年同四半期比7.8%増）となりました。セグメント利益は200,565千円（同5.5%減）となりました。

(公的保育事業)

売上高は2,397,916千円（同31.9%増）となりました。セグメント利益は269,151千円（同43.0%増）となりました。



## 【訂正前】

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,842,810千円（前連結会計年度末比52,156千円減）となりました。

## (流動資産)

流動資産は2,509,156千円（同324,597千円減）となりました。これは、主に公的保育事業における新規施設の設備投資が生じたことにより、現金及び預金が前連結会計年度末比で352,579千円減少したためです。

## (固定資産)

固定資産は2,330,429千円（同273,214千円増）となりました。これは、主に公的保育事業における新規施設の建設により建物及び構築物が354,023千円増加したためです。

## ②負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は3,229,593千円（同269,984千円減）となりました。

## (流動負債)

流動負債は1,767,246千円（同144,207千円減）となりました。これは、主に未払金が206,715千円減少し、前受金が51,197千円増加したためです。

## (固定負債)

固定負債は1,462,346千円（同125,777千円減）となりました。これは、主に長期借入金が130,587千円減少したことによるものです。

## ③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,613,217千円（同217,828千円増）となりました。これは、四半期純利益217,608千円を計上したことにより、利益剰余金が増加したためです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年2月8日の「平成25年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (減価償却方法の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産（建物を除く）について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、変更に伴う影響は軽微であります。

## 【訂正前】

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,227,667	1,875,087
受取手形及び売掛金	454,432	475,654
原材料及び貯蔵品	3,199	4,769
その他	<u>148,530</u>	<u>153,725</u>
貸倒引当金	<u>△77</u>	<u>△80</u>
流動資産合計	<u>2,833,753</u>	<u>2,509,156</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,801,374	2,227,994
減価償却累計額	<u>△457,341</u>	<u>△529,937</u>
建物及び構築物(純額)	<u>1,344,033</u>	<u>1,698,056</u>
その他	309,429	183,289
減価償却累計額	<u>△92,467</u>	<u>△108,320</u>
その他(純額)	<u>216,961</u>	<u>74,968</u>
有形固定資産合計	<u>1,560,995</u>	<u>1,773,025</u>
無形固定資産	46,813	49,323
投資その他の資産	<u>449,405</u>	<u>508,080</u>
固定資産合計	<u>2,057,214</u>	<u>2,330,429</u>
繰延資産	3,999	3,225
資産合計	<u>4,894,967</u>	<u>4,842,810</u>
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	473,913	498,053
未払金	492,936	286,221
未払法人税等	223,387	173,790
前受金	452,585	503,783
賞与引当金	33,035	32,303
その他	<u>215,595</u>	<u>253,094</u>
流動負債合計	<u>1,911,454</u>	<u>1,767,246</u>
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	1,410,851	1,280,264
資産除去債務	81,607	103,017
その他	55,664	49,064
固定負債合計	<u>1,588,123</u>	<u>1,462,346</u>
負債合計	<u>3,499,577</u>	<u>3,229,593</u>

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	285,771	285,771
資本剰余金	510,439	510,439
利益剰余金	599,153	816,762
株主資本合計	<u>1,395,364</u>	<u>1,612,972</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	244
その他の包括利益累計額合計	25	244
純資産合計	<u>1,395,389</u>	<u>1,613,217</u>
負債純資産合計	<u>4,894,967</u>	<u>4,842,810</u>

## 【訂正前】

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	3,409,794	4,113,705
売上原価	2,746,813	3,362,771
売上総利益	662,981	750,934
販売費及び一般管理費	434,022	492,706
営業利益	228,958	258,227
営業外収益		
受取利息	269	705
受取配当金	3	3
設備補助金収入	285,984	145,277
その他	8,090	7,864
営業外収益合計	294,347	153,850
営業外費用		
支払利息	14,918	12,901
株式公開費用	2,000	16,000
その他	1,525	3,135
営業外費用合計	18,444	32,037
経常利益	504,861	380,040
特別損失		
固定資産売却損	16	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純利益	504,845	380,040
法人税等	238,967	162,432
少数株主損益調整前四半期純利益	265,878	217,608
四半期純利益	265,878	217,608

## 【訂正前】

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	265,878	<u>217,608</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	219
その他の包括利益合計	<u>3</u>	<u>219</u>
四半期包括利益	<u>265,881</u>	<u>217,828</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	265,881	<u>217,828</u>

## 【訂正前】

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	504,845	380,040
減価償却費	80,895	97,422
設備補助金収入	△285,984	△145,277
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,535	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,112	△732
受取利息及び受取配当金	△272	△708
支払利息	14,918	12,901
支払手数料	1,308	1,227
固定資産除却損	16	—
売上債権の増減額(△は増加)	5,040	△21,221
たな卸資産の増減額(△は増加)	86	△1,570
未払金の増減額(△は減少)	△14,301	△79,533
前受金の増減額(△は減少)	15,601	51,197
その他	45,405	27,994
小計	377,135	321,744
利息及び配当金の受取額	272	708
利息の支払額	△14,058	△13,430
法人税等の支払額	△182,449	△212,366
補助金の受取額	285,984	145,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	466,883	241,932
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△356,315	△406,554
無形固定資産の取得による支出	△2,746	△6,449
敷金及び保証金の差入による支出	△1,082	△33,360
敷金及び保証金の回収による収入	1,133	600
その他	△19,079	△24,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378,090	△470,646
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	548,691	138,772
長期借入金の返済による支出	△174,019	△246,447
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	△6,103	△6,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	358,569	△123,866
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	447,362	△352,579
現金及び現金同等物の期首残高	1,283,570	2,207,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,730,932	1,855,087

【訂正前】

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,592,258	1,817,535	3,409,794	—	3,409,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,592,258	1,817,535	3,409,794	—	3,409,794
セグメント利益	212,127	188,219	400,346	△171,388	228,958

(注) 1. セグメント利益の調整額△171,388千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,715,789	2,397,916	4,113,705	—	4,113,705
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,715,789	2,397,916	4,113,705	—	4,113,705
セグメント利益	<u>200,565</u>	<u>269,151</u>	<u>469,716</u>	△211,488	<u>258,227</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△211,488千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。